

令和5年度琴清苑事業報告・決算報告(抜粋)

総括

課題となっております施設利用者数につきましては、8月(4名)、9月(5名)に予想を上回る退所者が生じ、入所者数が79名まで減ってしまいました。それを受け、入所待機者が少ない状況に変わりはありませんが、10月、11月に15名の受入れを行いました。入所相談を受けてからタイムリーに対応したことが功を奏した形になりました。それでも稼働率は89.13%と前年度より3.19%の減少となりました。短期生活介護につきましては、定期的に利用されるご利用者を確保できたこともあり、稼働率は82.22%と前年度より28.85%の増加となりました。現在はご家族が情報を自ら収集し、ご自身たちでしっかり施設を選ぶようになっていきます。琴清苑も新しい施設となり、少なからずその選択肢に加えられることが感じ取れます。この選んでいただいたタイミングを逃すと他の施設へ流れてしまいます。従来の生活弱者の方の受け皿を担うことを踏襲しつつも、繰り返しのようになりますが、ご家族の希望にタイムリーに応え、年間を通じ92名以上の入所利用者の安定確保につとめていきます。

職員の人員に関しては、年間を通じ増減なく推移しました。新しい施設に移り3年が経過しました。業務内容の見直しや効率化を図るためにも、変化を加える時と判断し、次年度は介護職員の施設内異動を実施します。

厳しい施設運営が続く中、昨今の物価高騰が追い打ちをかけ、改善には至らず厳しい状況が続いています。ご利用者の安定確保による収入増加と諸制度の活用、人件費の抑制に引き続き取り組んでいきます。あわせて、法人理念である「心の福祉」の実践を通じ、ご利用者の安心、安全の確保につとめていきます。

また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、11月から12月末にかけてクラスターが発生してしまいました。全室個室という施設の特性を活かしたゾーニングをはじめとした感染対策の徹底で感染拡大防止につとめました。対策には大変な労力を要しました。この経験から反省を学び、引き続き感染防止につとめていきます。

※ 詳細は事業報告書をご一読ください。

財産目録		令和6年3月31日
資産・負債の内訳		琴清苑
I	資産の部	***
1.	流動資産	***
	流動資産合計	183,300,378
2.	固定資産	***
	固定資産合計	1,483,517,215
	資産合計	1,666,817,593
II	負債の部	***
1.	流動負債	***
	流動負債合計	44,376,112
2.	固定負債	***
	固定負債合計	451,583,196
	負債合計	495,959,308
	差引純資産	1,170,858,285

拠点区分貸借対照表		
令和6年3月31日		
	琴清苑会計	
	借方	貸方
流動資産	183,300,378	
固定資産	1,483,517,215	
資産の部合計	1,666,817,593	
流動負債		44,376,112
固定負債		451,583,196
負債の部合計		495,959,308
基本金		210,550,201
国庫補助金等特別積立金		808,979,688
その他の積立金等		70,000,000
次期繰越活動収支差額		81,328,396
純財産の部		1,170,858,285
負債・純財産の部合計		1,666,817,593

拠点区分資金収支計算書			
(自)令和5年4月1日(至)令和6年3月31日			
勘定科目		琴清苑会計	
決算 の 状 況	事業活動	事業活動収入計①	418,203,938
		事業活動支出計②	411,115,129
		事業活動資金収支差額③(①-②)	7,088,809
	施設整備 その他活動	施設整備等収入計④	0
		施設整備等支出計⑤	9,695,367
		施設整備等資金収支差額⑥(④-⑤)	-9,695,367
	その他活動	その他の活動収入計⑦	11,356,418
		その他の活動支出計⑧	4,553,433
		その他の活動資金収支差額⑨(⑦-⑧)	6,802,985
		予備費(⑩)	0
	当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩		4,196,427
前期末支払資金残高⑫		152,417,783	
当期末支払資金残高⑬(⑪+⑫)		156,614,210	

※ 会計方式は平成24年6月に「新会計基準」へ移行しています。また、監査報告書はHPでご確認ください。